

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第6学年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と計算	5年	A(4)オ 異分母の分数の加法・減法	異分母の分数のたし算が計算できること。			○		○	
②		(2)		数と計算	6年	A(1)イ 分数の乗法及び除法の計算	分数のかけ算が計算できること。			○		○	
③		(3)		数と計算	6年	A(1)イ 分数の乗法及び除法の計算	分数と小数のわり算が計算できること。			○		○	
④	2			数量関係	6年	D(3)ア a, x などの文字を用いた式	文字を用いて表された式の意味が分かること。				○	○	
⑤	3	(1)		数と計算	6年	A(1)イ 分数の乗法及び除法の計算	除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることが分かること。				○	○	
⑥		(2)		数と計算	6年	A(1)ウ 分数の乗法及び除法の計算	整数のわり算に関して成り立つ関係や法則が、分数の場合でも成り立つことが分かること。				○	○	
⑦		(3)		数と計算	6年	A(1)ウ 分数の乗法及び除法の計算の性質	かけ算とわり算の相互関係から計算の結果を確かめる方法が分かること。				○	○	
⑧	4	(1)		量と測定	5年	B(4)ア 単位量当たりの大きさ	単位量当たりの大きさを利用して、容器の重さを求める方法を考えることができること。		○				○
⑨		(2)		図形	5年	C(1)エ 円周率	円周の長さをもとに、直径の長さを求めることができること。			○		○	
⑩	5	(1)		量と測定	6年	B(4) 速さ	時速の意味を理解し、関係を図に表す方法が分かること。				○	○	
⑪		(2)		量と測定	6年	B(4) 速さ	速さと道のりから、かかる時間を求めることができること。			○		○	
⑫	6	(1)		図形	6年	C(1)イ 対称な図形	示された図形が線対称であり点対称でもあることが分かること。				○	○	
⑬		(2)		図形	6年	C(1)イ 対称な図形	点対称な図形をかくことができること。			○		○	
⑭	7	(1)		量と測定	5年	B(4)ア 単位量当たりの大きさ	求めた混み具合の意味が分かること。				○	○	
⑮		(2)		量と測定	5年	B(4)ア 単位量当たりの大きさ	単位量あたりの大きさを基に、全体数を考えることができること。		○				○
⑯	8			量と測定	5年	B(3)ア 測定値の平均	部分の平均から全体の平均の求め方を考えることができること。		○				○
⑰	9	(1)		数量関係	6年	D(1) 比	割合が同じであることを利用して比の考え方を使得、答えの求め方を考えることができること。		○				○
⑱		(2)		図形	6年	C(1)ア 縮図や拡大図	与えられた図形を、条件に沿って2倍の拡大図をかくようとしていること。	○					○
⑲	10	(1)		数量関係	5年	D(4) 円グラフや帯グラフ	部分の割合に着目し、円グラフから全体と部分、部分と部分の関係を読み取ろうとしていること。	○					○
⑳		(2)		数量関係	5年	D(4) 円グラフや帯グラフ	もとにする量と割合の関係を利用して、それぞれの人数を求めることができること。			○		○	

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。